



附属小中学校PTA

ほけんきゅうしょくいいんかい

保健給食委員会だより

1月3日～7日は「附属健康week」です！

12月24日から楽しい冬休みが始まります。人の集まる行事が多い季節であるため、引き続き、感染症の流行が心配されます。健康に過ごすためには、「手洗いうがいやマスクの着用など、ウイルスを体の中に入れないようにすること」「規則正しい生活を送り、ウイルスが体の中に入ってきたても負けないような免疫力をつけることが大切です。そこで、1月3日から1月7日を全校のみんなが規則正しい生活を目指す「附属健康week」とし、生活リズムチェックを行っていきます。

① 早寝早起き

《睡眠時間の目標》
1～7年生：9～11時間
8・9年生：8～10時間

必要と考えられている年齢別睡眠時間です。
（早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来より：文部科学省）

睡眠時間が短いとどんなことが起きるの？

- (1) 気持ちのコントロールがうまくできず、イライラしたり、気分が落ち込んだりする。
- (2) 意欲や記憶力、注意力が低下する。
- (3) 免疫力が下がり、風邪を引きやすくなる。
- (4) 疲れがたまりやすくなる。
- (5) 肥満になりやすい。



★お休みの日にたくさん寝ても、睡眠はためておくことはできません。

毎日きちんと睡眠をとることが大切なので、早寝早起きのリズムをくずさないようにしましょう。

② メディア(テレビ、ゲーム、スマートフォンなどのデジタル機器)

《メディアの目標》1日1時間以内（ノーメディアも目指してみましょう。）
※学習のために使ったメディア時間は除く。

寝る前にメディアを使うとどうなるの？

デジタル機器の液晶画面の光には、ブルーライトという青くて強い光を含んでいるものもあります。この光を浴びると、眠りのホルモンが出にくくなり、なかなか眠れなくなります。

メディア以外の過ごし方（保健給食委員会から提案！）



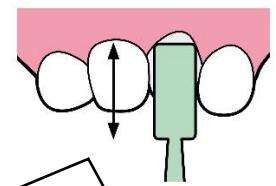
- ・体を動かす。（ラジオ体操、ストレッチ、ウォーキング、なわとび等）
- ・お手伝いをする。・ゲームをする。（トランプ、オセロ、将棋、しりとり等）
- ・読書をする。
- ・絵を描く。
- ★他にもいい過ごし方があったら、振り返りのところに書いて教えてくださいね。

③ 歯みがき

《歯みがき目標》朝夕食後、みがき残しの多い場所を意識して歯をみがく。

みがき残しの多い場所とそのみがき方

(1) 歯と歯の間



歯ブラシを縦に持ち、1本ずつみがく。

(2) 歯と歯肉の間



毛先を45度に当て、細かく動かす。

(3) 奥歯の溝



横から歯ブラシを入れ、1本ずつみがく。

④ 朝ごはん

《朝ごはんの目標》毎日食べる。

朝ごはんはどうして食べないといけないの？

私たちの脳は寝ている間も活動しています。そのため、朝起きたときは脳のエネルギーが不足した状態となっています。午前中、元気に活動するためには、朝ごはんをしっかりと食べ、午前中から元気に活動できる状態にしておくことが大切です。

また、口に食べ物が入り胃に送られると、内臓が動き始め、排便の習慣にもつながります。

おすすめ朝食：ツナマヨ

マグカップオムレツ

（作り方）2人分

①ボウルに汁気をきったツナ（1缶）と卵（4個）、牛乳（大さじ4）、塩・こしょう（少々）、マヨネーズ（大さじ1）を混ぜ合わせ、マグカップの7分目まで注ぎ、ラップをふんわりかける。

②レンジ（600W）で1つにつき約3分加熱する。同様にもう1つ作る。

★ケチャップをかけても美味しいですよ

保護者の皆さんへ

日頃より、附属小中学校 PTA 活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。夏休みに実施した「附属健康 week」では、長い休みの中で変わってしまった生活リズムを、学校が始まる前に整えるきっかけとなったというコメントをいただきました。冬休みは短いですが、夜ふかしや長時間のメディア使用などで生活リズムが乱れやすくなります。また、外出や普段会わない人との交流が多くなる時期でもあり、全国的にもインフルエンザやコロナなどのウイルス感染が流行する恐れもあります。そこで心と体の健康を守るためにには、やはり生活習慣を整えることが大切だと考え、1月3日～1月7日の間を「附属健康 week」とし、冬休みも生活リズムチェックを行っていきます。この機会が、再びお子さんの生活リズムを見直すきっかけになればと思います。チェック表につきましてはお子さんにお渡しいたしますが、特にⅠ部の保護者様は、一緒にご記入していただけたらと思います。7日までチェックが終わりましたら、いえのひとからのコメント欄を設けさせていただきましたので、お子さんのご家庭での様子や励ましの言葉等ご記入していただけたらと思います。ご協力をよろしくお願ひいたします。